

笑顔

第7回東峰学園運動会スローガン

無限

「～元気・勇気・優しさを伝えよう～」

■子どもたちの頑張り

9月18日（月）、第7回東峰学園運動会が行われました。

残暑のなか、みんなで協力し合い、競技に全力で挑みました。

保育園児たちの可愛い踊りや、工夫をこらした応援コンクール、ゴールを目指して走ったチーム対抗リレー、毎年恒例のフォークダンスなど子どもたちの頑張る顔や声援に大人たちも笑顔になりました。

災害にも負けない子どもたちの元気な笑顔は、村にとっての最高の宝です。



東峰村公民館

☎ 72-2301

平日 8:30 ~ 17:15

10月から公民館学級、講座を再開しています。4月に各学級の申込みを受付けていましたが、途中からの参加も可能です。気になる講座がありましたら公民館窓口、またはお電話にてお問い合わせください。

◆女子みらい塾（毎月開催）

色んな体験を通じて学級相互の親睦を深めます。

- ・10月27日（金）13：00～15：00 いずみ館（調理室）パン作り講座
- ・11月6日（月）13：30～15：30 小石原公民館（大会議室）3B 体操

◆家庭教育学級 ～ムラのヒト・コト～（毎月開催）

「子育て」が「孤育て」にならないようにムラで一緒に子育てしているヒトと色んなコトを学びながら顔見知りを増やしていく学級です。

- ・10月17日（火）10：00～ 子ども館集合 東峰学園へ行ってみよう！（学校見学）

◆男の料理教室（11・2月開催）

地域おこし協力隊の津田壮史さんにイタリア料理を伝授していただきます。

- ・11月28日（火）19：00～ いずみ館（調理室）
パンとチーズのカルボナーラ風、サッコッティーノ アッラ ズッカ、キノコと生パスタ
- ・2月 ジャガイモのパイ、ポルケッタ、キャベツとネギのソースと簡単ピラフ



①リズム (小石原保育園) ②リズム (美星保育所) ③競遊 (1・2年生) ④応援 (中学部) ⑤応援 (中学部) ⑥旗取り (来入児) ⑦表現 (1・2年生) ⑧応援 (小学部) ⑨応援 (小学部) ⑩表現 (5・6年生) ⑪表現 (3・4年生) ⑫リレー (小・中) ⑬フォークダンス (中学部)



◆歴史講座 (11・2・3月開催)

- ・11月23日(木) 9:00～ 秋月城下、三奈木地区探訪
- ・2月 東峰村の民俗歴史講座

◆古文書講座 (毎月1回開催)

古文書に親しみ、読解力を身につけます。

◆健康麻雀 (毎月1回開催)

麻雀の基礎から学ぶので初心者でも楽しめます。

- ・11月18日(土) 13:30～ いずみ館

◆将棋講習 (11・2月開催)

- ・11月18日(土) 9:30～ いずみ館

●平成29年度 大人みらい支援塾 (希望者で計画、随時受け)

東峰村民概ね10名で行う活動の講師料と施設使用料を1事業20,000円まで補助します。



♡ 『らぶすぽ東峰』 次回予告 ♡ 総合型地域スポーツクラブ

らぶすぽの活動	場 所	目 時	備 考
ニュースポーツ教室	村民センター	10月23日(月) 19:30～	自由に参加できます。
健康体操『ヨガ教室』	いずみ館 多目的ホール	11月8日(水) 19:30～	会員500円 非会員1,000円 ※マットはこちらで準備します。

地域おこし協力隊 活動日誌

今月の協力隊活動日誌は津田隊員・板谷隊員2名でお送りします!!



津田隊員

日々、東峰村に定住するために活動をしています。以前検討していた空き家の場所は結果的に難しいということで再度振出しに戻り、現在は親水公園の近くの空き家を定住先として話を進めています。借りていた畑も田んぼも『農薬や肥料を購入せずに作る』という目的は何とか達成でき、それなりの品質の野菜も出来て、やりたいことはできたかと思えます。今後は新しいところで本格的な畑を作り自給自足可能な農作物を作っていこうと思います。

村民の方から食事イベントも様々な場所へ呼んでいただき、今まで以上に多くの方に食事を作ることが出来ました。皆様のご理解あっての事と思えます。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。今後もよろしくお願ひします。

7月の災害で東峰村は、大きな被害を受け、多くのものを失いましたが、一方で自分は通常ではお会いすることの出来なかった方々と交流し、いろいろな意味で理解を深めることが出来多くのものを得ることが出来ました。活動を通しての出会いや、そこで得たものを最大限に活用できればと思います。自分の活動が村の復興につながると信じて、これからも一層励んでいきたいと思ひます。



▲畑のスタードームに絡まった豆やキュウリなど



▲自然農での田んぼ



▲食事会の料理



板谷隊員

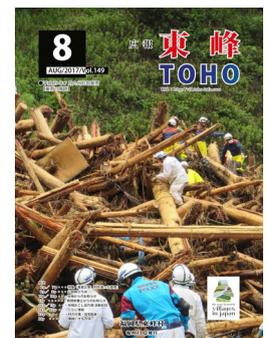
災害発生から3ヶ月が経ちました。災害発生時は、自分がおかれてる状況もわからず不安な日々を過ごしました。村外に居る両親にも連絡が取れず、心配をかけたと思ひます。私だけの話ではなく、多くの方が家族と連絡を取れず、さぞかし心配されたことと思ひます。

私は7月5日から道路状況やライフラインの状況を村民の方に伝えるために作られた復興かわら版の編集を行いました。刻々と移りゆく状況をいち早く村民の方に伝えるため、1日1~2回ほど発行しました。停電が起き、テレビ等で情報が見れない状況で、いかに情報を伝えることが大事か今回の件で学ぶことができました。

また、この大災害を風化させない為にも記録として8月の広報紙で災害現場の写真や、時系列でまとめた災害発生時のできごとを掲載しました。発行後、嬉しいことに村民の方からお手紙をいただき、とても嬉しかったです。情報発信がミッションで東峰村に来て、少しお役にたてたのかなと思ひています。今後も皆様に広報紙を通して情報をお伝えします。



▲復興かわら版



▲広報8月号